

人事行政の運営等の状況の公表(令和3年度分) 市の職員数や給与などを公表します

問合 人事課

市では、毎年12月に前年度における職員数や給与など、職員に関する情報を公表しています。



詳しくは、市役所4階の情報公開コーナー、市のホームページで閲覧できます。

職員の任免に関する事項

部門別職員数の状況(各年4月1日現在)

●正規職員

部門	区分	職員数(人)		対前年増減数	
		令和4年	令和3年		
普通会計部門	一般行政部門	議会	6	6	0
		総務企画	88	88	0
		税務	24	25	▲1
		民生	154	151	3
		衛生	20	17	3
		労働	2	1	1
		農林水産	2	1	1
		商工	4	4	0
		土木	31	30	1
	計	331	323	8	
	教育	63	65	▲2	
	消防	87	86	1	
	小計	481	474	7	
公営企業等会計部門	病院	287	296	▲9	
	水道	15	15	0	
	下水道	7	8	▲1	
	その他	25	25	0	
	小計	334	344	▲10	
合計		815	818	▲3	
		[1,074]	[1,074]	[0]	

(注)職員数は一般職に属する職員数です。[]内は、条約定数の合計です。

●フルタイム会計年度任用職員 (注)令和2年度より制度開始

部門	区分	職員数(人)		対前年増減数
		令和4年	令和3年	
一般行政部門	民生	6	13	▲7
公営企業等会計部門	病院	3	2	1
計		9	15	▲6

令和3年度に実施した職員採用競争試験の状況

区分	受験者数	合格者数
上級事務職	123人	9人
上級建築職	5人	0人
上級土木職	3人	0人
消防吏員(上級)	46人	2人
消防吏員(初級)	58人	
助産師	6人	4人
看護師	1人	1人
保育士	22人	9人

職員の給与の状況

(1)人件費の状況 普通会計決算

区分	住民基本台帳人口(R4.1.1)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)
3年度	7万3,807人	347億841万円	3億4,454万円	47億761万円	13.60%

(注)人件費には児童手当を含みません。

(2)職員給与費の状況 普通会計決算

区分	職員数(A)	給与			計(B)	一人当たり給与(B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
3年度	481人	15億8,292万円	4億30万円	6億7,170万円	26億5,492万円	552万円

(3)職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額の状況(令和4年4月1日現在)

●一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額
泉大津市	42.3歳	30万7,483円

(4)職員の初任給の状況(令和4年4月1日現在)

区分	泉大津市	
	初任給	
一般行政職	大学卒	18万8,700円
	高校卒	16万100円

(5)職員の手当の状況 期末手当・勤勉手当(令和3年度)

	泉大津市	国
1人当たり平均支給額	136万8,000円	-
令和3年度支給割合	期末手当2.55月分 勤勉手当1.9月分	期末手当2.55月分 勤勉手当1.9月分
加算措置の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置	職制上の段階、職務の級等による加算措置

(注)1人当たり平均支給額は、全職種に係る職員(企業職、市立病院の医師などを含みます)に支給された平均額です。

(6)特別職の報酬等の状況(令和4年4月1日現在)

区分	給料月額等	
給料	市長	71万2,000円 (89万円)
	副市長	63万2,000円 (79万円)
	教育長	63万円 (70万円)
報酬	議長	61万円
	副議長	58万円
	議員	55万円
期末手当	市長・副市長・教育長	(令和3年度支給割合) 4.4月分
	議長・副議長・議員	(令和3年度支給割合) 4.4月分

※ 給料の()内は、減額措置を行う前の金額です。

3. 一般会計 歳出の概要

歳出の決算は、経費の経済的な性質に着目した「性質別分類」と行政目的に着目した「目的別分類」に分類することができます。性質別分類では令和3年度の概要を、目的別分類では、市民1人あたりの歳出額をお知らせします。

■性質別

【義務的経費】

・扶助費 106億6,498万円(前年度比24.2%増)

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業で10億394万円の増、住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業で8億7,003万円の増、障がい者総合支援給付事業で2億4,414万円の増など

・人件費 47億1,342万円(前年度比7.9%増)

職員給で1億3,050万円の増、退職手当で9,835万円の増など

・公債費 26億9,140万円(前年度比13.8%減)

市債の返済に要する経費で、前年度比13.8%減の26億9,140万円となりました。

【投資的経費】

31億73万円(前年度比45.3%増)

小学校施設整備事業で4億837万円の増、新図書館整備事業で3億9,897万円の増など

【その他の経費】

137億1,380万円(前年度比33.7%減)

補助費等で、前年度比62.2%減の47億2,408万円となり、特別定額給付金給付事業で74億3,128万円の減が主な要因となっています。繰出金では、介護保険事業特別会計繰出金事業で5,323万円の増など、前年度比2.2%増の30億9,568万円となり、積立金では、財政調整基金積立事業で5億6,597万円の増など、前年度比27.8%増の15億3,722万円となりました。

■目的別

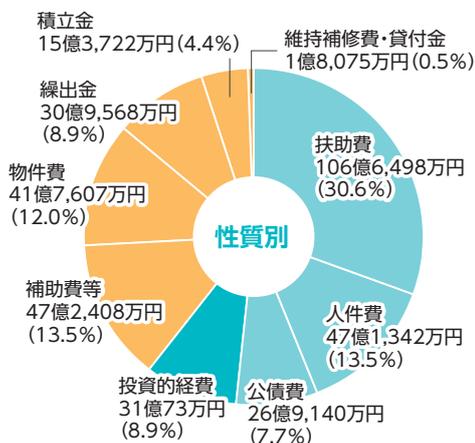
市民1人あたりの歳出総額 47万4,836円

目的別歳出を市民1人あたりに置き換えると…

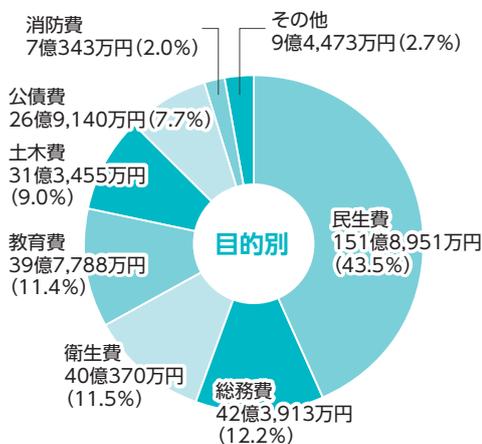
民生費	総務費	衛生費	土木費	公債費	教育費	消防費	その他
高齢者や児童の福祉に	窓口業務、税金徴収に	ごみ処理や病気予防に	道路、河川、公園整備に	借入金の返済に	学校、公民館、学習活動に	消防活動、防災活動に	議会、商工、農林水産に
							
20万6,756円	5万7,702円	5万4,497円	4万2,667円	3万6,635円	5万4,146円	9,575円	1万2,858円

※令和3年度末時点での住民登録人口により算出

歳出 348億8,433万円



…義務的経費(支出が義務付けられており任意に削減することができない経費)
 …投資的経費(学校や道路などの建設・整備に要する経費)
 …その他の経費



1. 令和3年度決算の概要

令和3年度の一般会計における最終予算現額は383億3,527万円で、この予算に対する決算額は、歳入が355億6,026万円、歳出が348億8,433万円で、差し引き6億7,594万円となりました。このうち翌年度へ繰り越すべき財源3億3,140万円を差し引いた実質収支の額は3億4,454万円となり、18年連続の黒字決算となりました。

財政用語については、
こちらを
ご確認ください。



会計名	決算額		形式収支額(A) (歳入-歳出)	繰越すべき財源(B)	実質収支額 (A)-(B)
	歳入	歳出			
一般会計	355億6,026万円	348億8,433万円	6億7,594万円	3億3,140万円	3億4,454万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出及び形式収支額などの計が一致しないことがあります。

2. 一般会計 歳入の概要

■一般会計 歳入の概要

①市税 116億2,242万円(前年度比0.1%増)

個人市民税で6,500万円の減、固定資産税で7,177万円の減、法人市民税で9,033万円の増など

②税外収入 30億2,091万円(前年度比0.1%増)

財産収入では土地売却収入で2,856万円の増、繰越金では前年度純剰余金で1億224万円の減、寄附金ではふるさと応援寄附金で4,697万円の増など

③国庫支出金 93億6,402万円(前年度比35.5%減)

特別定額給付金給付事業費補助金で74億6,611万円の減、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で5億676万円の減など

④地方交付税 45億7,841万円(前年度比19.5%増)

地方財源の均衡化を図るため、国税の一定割合などが地方公共団体に交付されるもの

⑤府支出金 20億3,998万円(前年度比2.7%減)

障がい者総合支援負担金で6,256万円の増、安心子ども基金特別対策事業費補助金で4,767万円の減、国勢調査委託金で3,788万円の減など

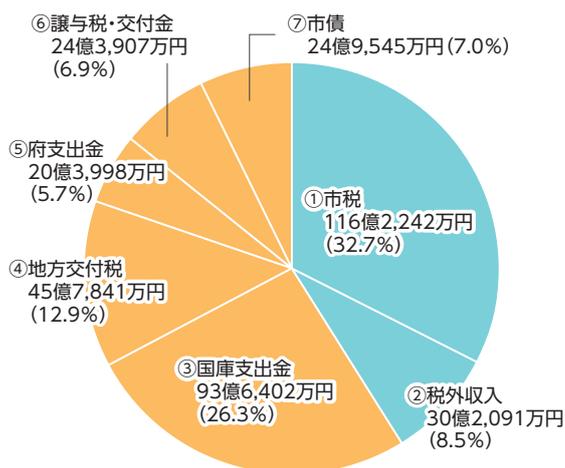
⑥譲与税・交付金 24億3,907万円(前年度比19.4%増)

地方消費税交付金は1億3,695万円増の16億8,271万円で、そのうち社会保障財源交付金にあたる9億6,924万円を障がい福祉サービス給付などの社会保障施策の財源として活用

⑦市債(借入金) 24億9,545万円(前年度比9.7%増)

公園整備事業債で3億2,940万円の減、小学校整備事業債で3億690万円の増、中学校整備事業債で2億1,990万円の増など

歳入 355億6,026万円



【①市税の内訳】

個人市民税	38億1,871万円
法人市民税	8億4,012万円
固定資産税	52億1,974万円
軽自動車税	1億2,919万円
市たばこ税	6億3,990万円
都市計画税	9億7,476万円

【②税外収入の内容】

諸収入、使用料及び手数料、繰越金、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、寄附金

■自主財源(地方自治体の権限で収入できる財源)
■依存財源(国や府の意思決定に基づき交付される財源)

市民1人あたりの市税負担額
15万8,201円

※令和3年度末時点での住民登録人口により算出

6. 令和3年度決算における健全化判断比率と資金不足比率(暫定値)を公表します

■健全化判断比率:4指標

※黒字である場合には、「-」の表示となります。

各比率	概要	泉大津市		国の基準	
		比率		早期健全化基準	財政再生基準
		3年度	2年度		
実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計などの赤字の割合	-	-	12.60%以上	20.00%以上
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	-	-	17.60%以上	30.00%以上
実質公債費比率	1年間の収入に対する借入(借入金)返済の負担を3か年の平均で示した割合	8.5%	8.7%	25.0%以上	35.0%以上
将来負担比率	標準財政規模に対する将来本市が支払う借入金返済の割合	14.2%	29.3%	350.0%以上	

■資金不足比率

※不足額がない場合には、「-」の表示となります。

各比率	事業	概要	泉大津市		国の基準
			3年度	2年度	経営健全化指標
資金不足比率	水道事業会計	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合 この割合が高い場合、経営状況が悪いことを示します	-	-	20.0%以上
	病院事業会計		-	3.6%	
	下水道事業会計		-	-	

7. 令和3年度に実施した主な事業

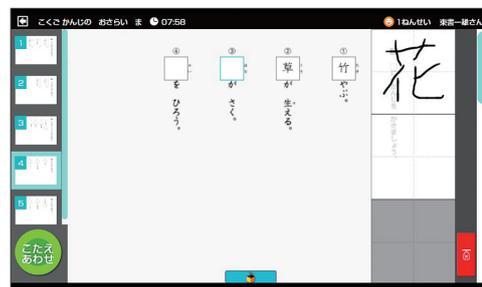
① 中学校全3校の屋内運動場に空調設備を導入

中学校の屋内運動場に冷暖房運転ができる空調設備を設置しました。夏の熱中症対策だけでなく災害時の対応力を重視し、LPガス仕様の自立発電型で停電時にも使用でき、災害に強い設備です。



② デジタル学習教材を導入

小・中学校で1人1台配備したタブレットを活用し、学習の個別最適化や自学自習の推進を図るため、学習ドリル機能が充実しているデジタル学習教材を導入しました。授業や家庭学習の他、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学級・学年閉鎖の際には、児童生徒の学びを止めないための手段として活用できました。



③ AIリアルタイム情報収集サービス導入

以前から災害時の被害状況を把握する手段が、通報や現地確認に限られ、即時性や正確性の低さによる対応の遅れが懸念されていました。そのため、SNSの投稿を瞬時に集約しAIと人の目で画像などを解析する、リアルタイム情報収集サービスを導入しました。それにより、速報性・正確性・網羅性に長けた情報収集が可能となり、すばやく的確な初動対応に繋がります！



4. 特別会計の決算状況

会計名	決算額		形式収支額 (歳入・歳出差引額) (A)	翌年度へ 繰越すべき財源 (B)	実質収支額 (A) - (B)
	歳入	歳出			
特別会計	155億5,549万円	153億667万円	2億4,881万円	0万円	2億4,881万円
土地取得事業特別会計	2億1,924万円	2億1,924万円	0万円	0万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	81億7,470万円	81億918万円	6,552万円	0万円	6,552万円
介護保険事業特別会計	61億3,897万円	59億8,909万円	1億4,988万円	0万円	1億4,988万円
後期高齢者医療特別会計	10億2,258万円	9億8,916万円	3,341万円	0万円	3,341万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

5. 借入金と財産の状況 (令和4年6月30日時点)

■市の借入金(市債・企業債)現在高

会計名	現在高
一般会計	259億4,501万円
土地取得事業特別会計	13億9,113万円
下水道事業会計	196億2,042万円
水道事業会計	31億704万円
病院事業会計	27億6,768万円
合計	528億3,128万円

■市の財産現在高

区分	現在高
有価証券	2,350万円
基金	
泉大津市財政調整基金	43億3,975万円
泉大津市都市施設整備基金	1億4,435万円
泉大津市福祉基金	2,257万円
交流とふれあいのまちづくり基金	2億5,737万円
深喜人材育成基金	1億3,014万円
泉大津市公園墓地基金	4,646万円
泉大津市介護給付費準備基金	5億5,528万円
辻川穂太郎やすらぎ基金	8,266万円
泉大津市がんばろう基金	4,874万円
佐野幸子基金	1,362万円
泉大津市地域環境基金	9,154万円
八木稔すこやか基金	5,948万円
泉大津市環境整備資金貸付基金	6,194万円
泉大津市宮住宅整備基金	3億5,976万円
テクスピア大阪産業振興整備基金	5億9,134万円
泉大津市安全・安心なまちづくり連携活動基金	6,220万円
泉大津市ふるさと応援基金	13億4,767万円
泉大津市下水道基金	5,044万円
泉大津市公共施設整備基金	4億8,476万円
泉大津市国民健康保険事業財政調整基金	2億2,532万円
泉大津市駐車場整備基金	2,878万円
泉大津市森林環境譲与税基金	1,352万円
小計	90億1,769万円
合計	90億4,119万円

市民1人あたりに
おきかえると…



借入金(市債・企業債)	72万円
財産	12万円

※令和4年6月末時点での住民登録人口により算出



8.水道・下水道事業決算

■水道事業決算 問合 水道課

収益的収支は、収入は17億2,027万円、支出は15億8,332万円となり、差し引き1億3,695万円の黒字となりました。

水道事業の
収支内訳はこちら



収益的収支(税抜)		資本的収支(税込)	
収入		収入	
収入合計	17億2,027万円	収入合計	3億1,231万円
支出		支出	
支出合計	15億8,332万円	支出合計	8億3,995万円
差引		差引	
純利益	1億3,695万円	不足額	5億2,764万円

■下水道事業決算 問合 下水道課

収益的収支については、収入は25億5,553万円、支出は23億9,605万円となり、差し引き1億5,948万円の黒字となりました。

下水道事業の
収支内訳はこちら



収益的収支(税抜)		資本的収支(税込)	
収入		収入	
収入合計	25億5,553万円	収入合計	19億9,942万円
支出		支出	
支出合計	23億9,605万円	支出合計	27億8,490万円
差引		差引	
純利益	1億5,948万円	不足額	8億2,548万円

9.市立病院事業決算

■業務の状況 問合 市立病院総務課

令和3年度の入院患者数は延べ4万3,774人(1日平均119.9人)で、前年度と比較し1,894人(1日平均5.2人)の増加となり、病床利用率は52.1%(前年度49.9%)となりました。外来患者数は延べ13万5,915人(1日平均561.6人)で、前年度と比較し5,679人(1日平均25.6人)の増加となりました。

■決算の状況

収益的収支は、収益は64億6,940万円で、前年度に比べ、6,688万円(1.0%)の減収となりました。費用は59億3,724万円で、前年度に比べ、5,496万円(0.9%)の減少となり、収益的収支としては5億3,216万円の純利益となりました。

また、資本的収支は、一般会計繰入金などの収入3億6,605万円、企業債償還金などの支出6億528万円となり、2億3,923万円の不足となりました。

病院事業の
収支内訳はこちら



収益的収支(※1)		資本的収支(※2)	
収入		収入	
収入合計	64億6,940万円	収入合計	3億6,605万円
支出		支出	
支出合計	59億3,724万円	支出合計	6億528万円
差引		差引	
純利益	5億3,216万円	不足額	2億3,923万円

※1 主に医療行為による収入と病院の維持管理経費を中心とした収支(税抜)

※2 医療機器の更新や病院施設の建設改良経費を中心とした収支(税込)

一戸一灯運動をやってみよう！

あなたもできる安全・安心なまちづくり

問合 市民協働推進課

泉大津市安全・安心なまちづくり連携活動では、明るく安全なまちをつくるため「一戸一灯運動」を推進しています。

夜間は「ちかん」や「ひったくり」などの犯罪に遭わないか、不安に思うことが多い時間帯です。また、夜道が暗いと転倒してけがをする

かもしれません。

門灯や玄関灯を地域でつけ、暗がり解消することで、そういった不安やけがのリスクを減らすことを目的としています。

少しの負担で今日から気軽にできる「一戸一灯運動」をあなたも始めてみませんか？

安全・安心な
まちづくり連携活動



クラウドファンディング型ふるさと納税に挑戦します！

問合 秘書広報課

市では「官民連携」による全国共通の社会課題の解決につながるプロジェクトの創出に取り組んでいます。民間事業者などが市内でのプロジェクト実施に向けた資金調達を円滑にするため、昨年度から「クラウドファンディング型ふるさと納税」を実施し、全国から寄附を募っています。



「クラウドファンディング型ふるさと納税」とは…？

自治体が行う寄附制度で、ふるさと納税よりも具体的に、寄附金の使い道を自治体が抱える問題解決のためにプロジェクト化し、プロジェクトに共感した人から寄附を募る仕組みです。

寄附金はふるさと納税と同様、税控除を受けることができ、自治体の課題解決に皆さんの想いを反映することができます！

健康課題の解決につながる2つのプロジェクトを紹介します

Project 1

新型コロナ後遺症・ワクチン副反応の人を救いたい！ 改善プログラムを展開します！

長引くコロナ禍で、新型コロナ後遺症やワクチン接種後の副反応に悩む人が多くいます。不調と不安の中で苦しんでいる人のため、症状を緩和するプログラムを実施します。人間が本来持つ「免疫力」や「自己治癒力」を最大限発揮できるよう、高濃度水素吸入・漢方茶・足湯・整体コンディショニング・呼吸法ヨーガ・栄養指導など、統合医療的アプローチによる、一人ひとりの症状にあわせたプログラムを展開します。



Project 2

泉大津から始まる「新しい健康づくり」 健康状態の見える化と養生ステーション開設！

体の内外から多角的かつ総合的に自らの状態を知る「健康」へと導く新しいプロジェクトを実施します。

自律神経評価・栄養医学に基づく血液検査・姿勢・足型・呼吸・動作評価で健康状態の見える化し、専門医師から個別にフィードバックします！また、誰でも通える養生ステーションを開設し、個人では揃えることの難しい、サービス、高濃度水素吸入、重金属デトックスなどを利用できる場を作ることで、皆さんの免疫力・自己治癒力の正常化につなげます。



2つのプロジェクトの目標達成に向けて、皆さんからの支援をお願いします。

※市内在住の人の寄附について、寄附金控除の適用を受けることはできませんが、規定により返礼品をお送りすることは出来ません。

さとふる
クラウドファンディング
ホームページ

